

○ 目標は、どう変わるのか。

(社会科の目標)

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

※ 教科の目標については現行どおりの趣旨としたが、改正された教育基本法第1条の「平和で民主的な国家及び社会の形成者」という表現に合わせて、文言を一部改めた。

(各分野の目標)

1 地理的分野の目標の改訂の要点

(1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。

- ・ 目標の(1)では、世界の諸地域に関する地理的認識を養うことを明確にする趣旨から、それにかかわる文言を新たに付加した。

(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでもとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。

- ・ 目標の(2)では、今回の改訂で世界と日本の諸地域の地域的特色を学び、身近な地域の調査の中では地域の課題を見いだす学習を行うこととしたことを踏まえ、従前の地域的特色をとらえるための視点や方法を身に付けさせることから、地域的特色や地域の課題をとらえることに主眼を置いた趣旨の文言に改めた。
- ・ 目標の(3)及び(4)は基本的に従前の趣旨を継承しており、文言も変わっていない。

2 歴史的分野の目標の改訂の要点

(1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。

- ・ 目標(1)において、歴史的分野の学習の中心が「我が国の歴史の大きな流れ」の理解であるという趣旨を一層明確にした。従前これと同列の関係で示されていた「各時代の特色」は、「我が国の歴史の大きな流れ」の理解のために「踏まえ」る内容として位置付けられた。
- ・ 目標の(2), (3)及び(4)は基本的に従前の趣旨を継承しており、文言も変わっていない。

3 公民的分野の目標の改訂の要点

- ・ 目標の(1), (3)及び(4)は基本的に従前の趣旨を継承しており、文言も変わっていない。

(2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、**現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、**社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。

- ・ 目標の(2)では、政治や経済などについての見方や考え方の基礎を養うことの基盤となる概念的枠組みを形成するため、対立と合意、効率と公正などを取り上げ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を養う学習を重視することとすることから、それにかかわる文言を新たに付加した。